

平成 22 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社ベリサーブ
代 表 者 名 代表取締役社長 浅井 清孝
(コード番号:3724 東証一部)
問 合 せ 先 取締役執行役員 高橋 豊
(電話番号:03-5909-5700)

平成 23 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 決 算 概 況 < サ マ リ ー >

平成 22 年 10 月 26 日に開示いたしました「平成 23 年 3 月 期 第 2 四 半 期 決 算 短 信」の概況について要約してお知らせいたします。なお、詳細については、「平成 23 年 3 月 期 第 2 四 半 期 決 算 短 信 [日本基準](非連結)」をご参照ください。

1. 業績サマライズ【前年同期比】

単位:百万円

	平成 22 年 3 月 期 前第 2 四 半 期	平成 23 年 3 月 期 当第 2 四 半 期	前年同期比	
			増減額	増減率
売 上 高	2,450	2,427	△23	△1.0%
営 業 利 益	△42	63	105	-
営 業 利 益 率	△1.7%	2.6%	-	-
経 常 利 益	△33	80	113	-
四 半 期 純 利 益	△35	25	60	-

売上高 及び 営業利益

主力検証対象製品別にみると、自動車関係を中心とした ITS 関連分野においては、回復の兆しが見え始めるものの、デジタル家電を中心とした AV 機器分野では、製品の市場価格が下落しており引き続きコスト削減が求められています。その結果、売上高は前年同期比 23 百万円減の 2,427 百万円となりました。

販売費及び一般管理費においてはコスト削減を徹底し、前年同期に比べ、39 百万円減少し、662 百万円となり、結果、営業利益は、前年同期に比べ 105 百万円改善し、63 百万円となりました。

経常利益および四半期純利益

為替差損等の営業外費用を計上するも、雇用助成金等を営業外収益に計上した結果、経常利益は、前期に比べ 113 百万円改善し、80 百万円となりました。また、会計基準の変更(資産除去)を

実施した結果、特別損失として6百万円を計上し、法人税及び法人税等調整額で49百万円を計上したことにより、当第2四半期累計期間の四半期純利益は前年同期に比べ60百万円改善し、25百万円となりました。

2. セグメント別業績【前年同期比】

単位：百万円

	セグメント別	平成 22 年3月期	平成 23 年3月期	前年同期比 増減額
		前第2四半期	当第2四半期	
	開発支援検証サービス	2,349	2,292	△56
	認定支援サービス	17	21	4
	検証情報サービス	38	55	17
	製品検証サービス	2,404	2,370	△34
	セキュリティ検証サービス	4	4	△0
	その他検証サービス	41	52	11
	合 計	2,450	2,427	△23

主力サービスである、製品検証サービスが、2,370百万円(前年同期比34百万円減)となりました。これは、PC周辺機器等の検証業務及び製品相互の互換性などの検証業務が増加した結果、認定支援ならびに検証情報サービスが増加するものの、デジタル家電関係のコスト削減の影響を受け、開発支援検証サービスの減少が大きい要因となりました。

3. 検証対象製品別【前年同期比】

単位：百万円

対象分野	平成 22 年3月期		平成 23 年3月期		前年同期比 増減率
	前第2四半期		当第2四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	
ITS 関連分野	835	34.1	1,029	42.4	23.2%
AV 機器分野	657	26.8	379	15.6	△ 42.3%
携帯電話分野	341	13.9	347	14.3	3.3%
その他	617	25.2	672	27.7	7.9%
合 計	2,450	100.0	2,427	100.0	△ 1.0%

売上高及び営業利益 で述べましたように、自動車関係のITS関連分野では、回復の兆しが見えるものの、デジタル家電を中心としたAV機器分野では、厳しい環境となっております。

4. 通期の見通し

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期(平成 23 年3月期)	5,200	220	230	120

通期の業績予想につきましては、円高などの動向により顧客動向が不透明であり、下半期の景気動向には予想し難く、平成 22 年4月 28 日に開示しております当初計画を据え置きます。

詳細につきましては、平成 22 年 10 月 26 日に開示しております「平成 23 年3月期 第2四半期累計期間決算短信[日本基準](非連結)」ならびに「平成 23 年3月期 第2四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

5. その他補足事項

設立準備をしておりました中国上海における検証サービスの拠点となる百力服軟件測試(上海)有限公司の営業許可があり、当第2四半期累計期間より営業を開始いたしました。しかしながら、設立間もなく規模が僅少であるため、現時点では連結決算の対象としておりません。

以 上

* 本資料における将来の予測に関する記載事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。